

openstack

Open source software to build public and private clouds.

OpenStackの最新技術動向

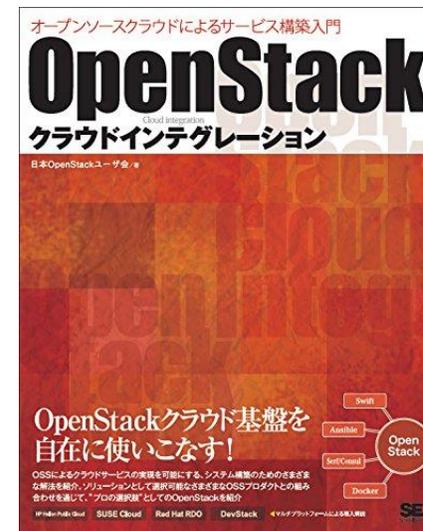
2015/10/1

Tomoaki Nakajima (@irix_jp)

自己紹介



- 日本OpenStackユーザ会
 - 会長(2012~)
- 東京大学
 - 非常勤講師(2015~)
- 国立情報学研究所 / TOPSE
 - 講師(2014~)
- 一般社団法人クラウド利用促進機構
 - 技術アドバイザー(2012~)
- 普段はSI勤務
 - クラウド技術の企画・開発(2011~)



@IT コラム 今日の1問 Q&A イベント 転職探し 派遣選び

mission1 あるITエンジニアが困っています

あなたのスキルでもって問題を解決してください

Win .NET System DataCenter HTML5 Mobile Coding Java DB Linux Network Security SysDesign Test&Tools 自分戦時

注目のテーマ ▶ ゲーム開発 **new!** タブレットアプリ開発 OpenStack ビジネス改革 未来IT 運用自動化 リーンスタートアップ データ分析 DevOps 業務アプリ デザインハック

@IT > OpenStack超入門~日本OpenStackユーザ会と追究する「攻める」...

OpenStack超入門

~日本OpenStackユーザ会と追究する「攻める」ITインフラの在り方~

スピーディなビジネス展開が収益向上の鍵となっている今、ITシステム整備にも一層のスピードと柔軟性が求められている。こうした中、オープンソースで自社内にクラウドインフラを構築できるOpenStackが注目を集めている。「ビジネスに応じたシステム整備」には「迅速・柔軟なリソース調達・構築」に加え、「アプリケーションのポータビリティ」「ベンダー・既存資産にとられないオープン性」なども不可欠となるが、OpenStackはまさにそうした要件を満たす技術であるためだ。ただ「ビジネスにリニアに即応するインフラ」の実現手段としてユーザー企業が揃えつつある一方で、さまざまな疑問も輸出している。本特集ではOpenStackの今を取材。日本OpenStackユーザ会の協力も得て、コンセプトから機能セット、使い方、最新情報まで、その全貌を明らかにし、今必要なITインフラの在り方を占う。

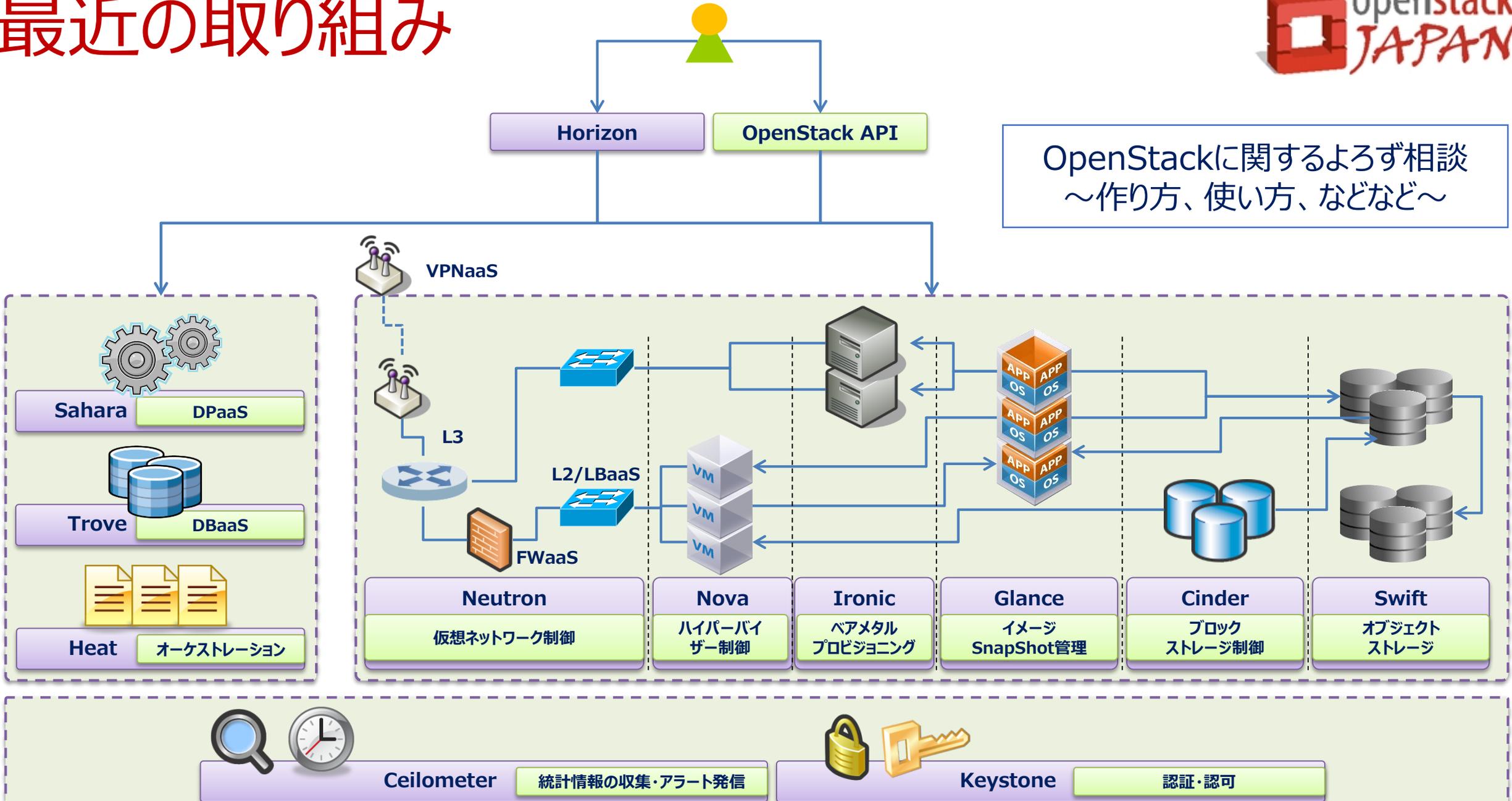
Google®カスタム検索

メルマガに登録する

スポンサーからのお知らせ

- ▶ 手順を掛けずにDB高速化。どうすれば？ “Yahoo! JAPAN”のDBを支える中の人語る 実運用での技術的な課題と対策とは？
- ▶ 2月3日発表の最新機能で何が変わる？ ストレージ仮想化の最新情報とテクノロジーの解説を、エンジニアリストからいち早くお届け
- ▶ 【徹底比較】SoftLayer vs 他クラウド SLAや料金、オブジェクトストレージ、CPU性能 各コンポーネントの比較まで1時間で集中解説
- ▶ [3,000円あたり] メルマガ申込キャンペーン バックアップの“プロ”に初級編から教わる メルマガバックナンバース試し読みのチャンス

最近の取り組み



OpenStackは確かに盛り上がってる



でもみんな何のために使ってるの？

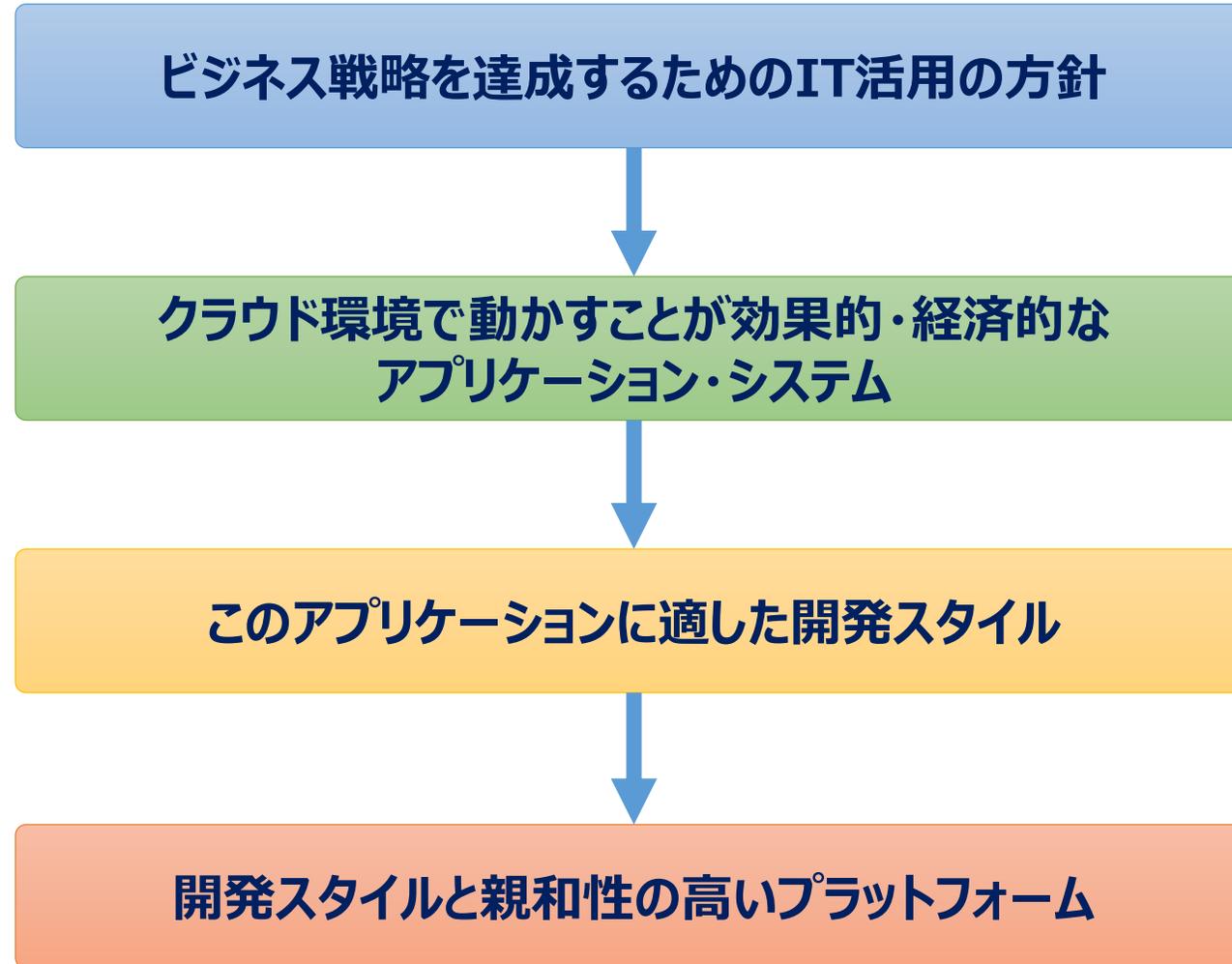
OpenStackを使うと・・・



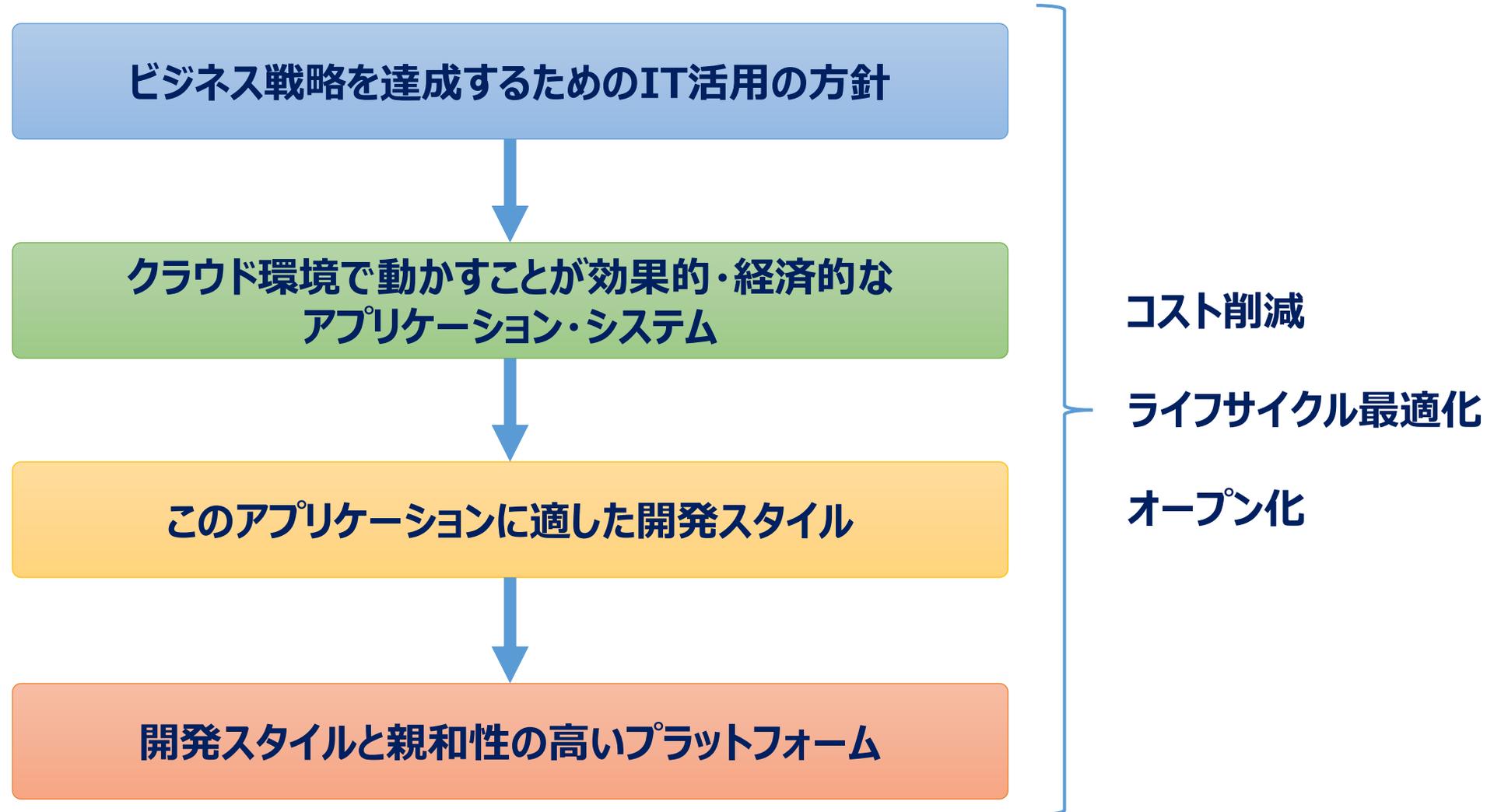
- コスト削減？
- 標準化？
- オープン化？

結果としてこれらはずついてくる

重要なのは



結果として



OpenStackは盛り上がっているけど・・・



■ こういう話題が出始めてきています。

The screenshot shows a TechTarget Japan article titled "OpenStack導入で先が思いやられる「アンチパターン」ベスト5 (1/2)". The article is dated June 25, 2015, and is the first part of a two-part series. The main text discusses the importance of initial concepts in OpenStack adoption and introduces five anti-patterns. The author is identified as [真壁 徹, 伊藤雅典, Hewlett-Packard]. The article includes social media sharing options for Twitter (43), Facebook (97), and Pocket (21), as well as a PDF print option. Related keywords include OSS, SDN (Software Defined Networking), ネットワーク, オープンソース, クラウドコンピューティング, OpenStack, and プライベートクラウド.

<http://techtarget.itmedia.co.jp/tt/news/1506/19/news09.html>

The slide features a large number '5' in the top right corner. The main content is a blue box with white text: "コレジャナイOpenStack エンタプライズにおけるプライベートIaaSの実態と課題". Below this, the date "2015/07/13" and the author "NTTデータ 基盤システム事業本部 武田健太郎" are listed, along with the email address "takedakn@nttdata.co.jp".

NTT DATA

Copyright © 2015 NTT DATA Corporation 5周年特別企画: OpenStack Summitの歩き方

<http://www.slideshare.net/takedakn/openstack-50452109>

なぜか？

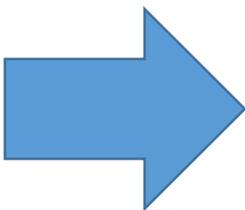
ビジネス戦略を達成するためのIT活用の方針

クラウド環境で動かすことが効果的・経済的な
アプリケーション・システム

このアプリケーションに適した開発スタイル

開発スタイルと親和性の高いプラットフォーム

ここしか見ていない



典型的なアンチパターン

安い仮想化基盤ソフトだな

今のシステムを
そのまま移行ができるな

上がクラウドクラウドうるさいから
とりあえず使うか

一部の技術のみを判断

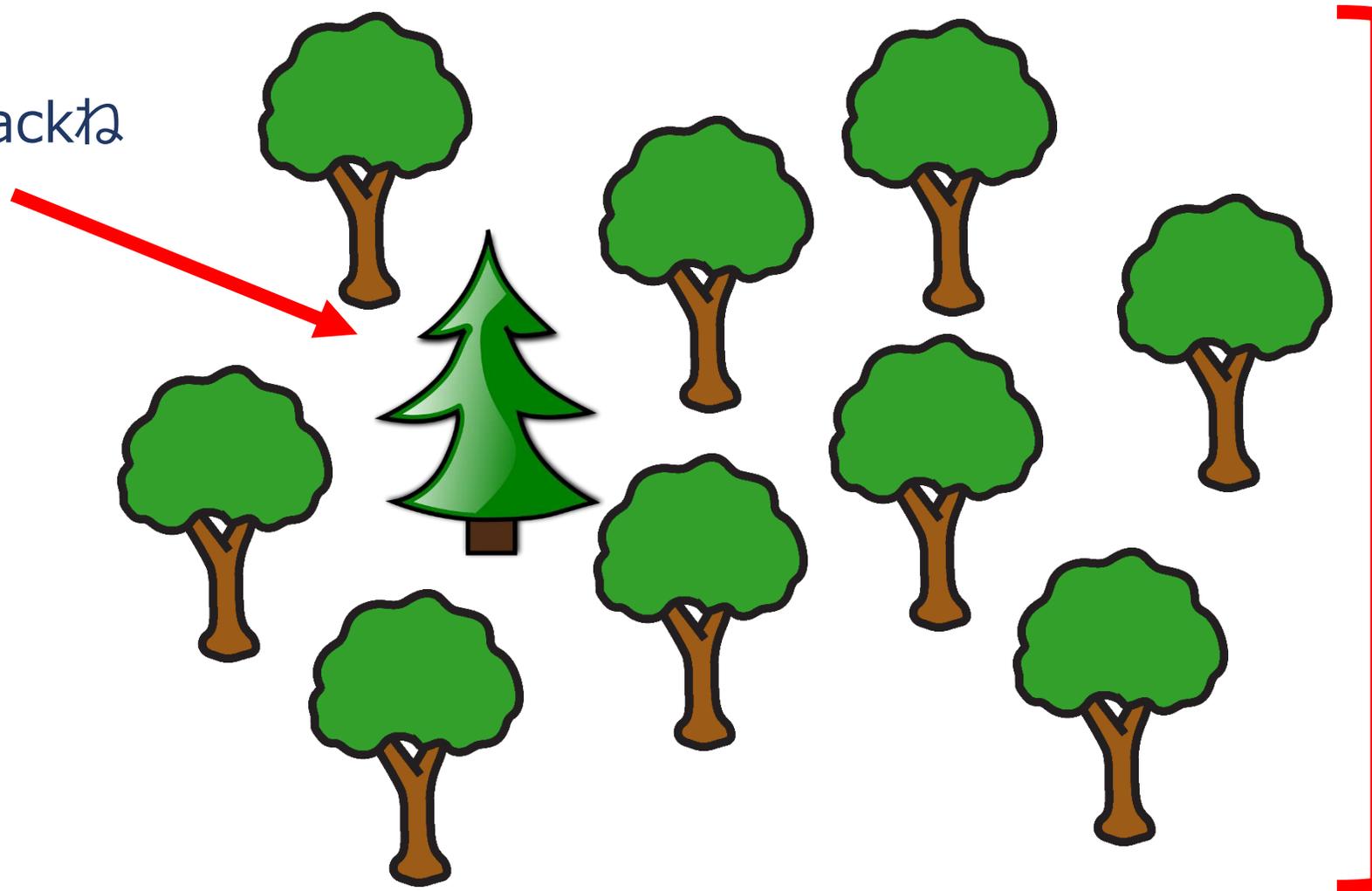
市場の大きな変化を見ていない

ビジネス要件を考慮していない

原因 1

- 知っている部分だけを見て理解 (したつもりになる)

これがOpenStackね



実は全体が
OpenStack

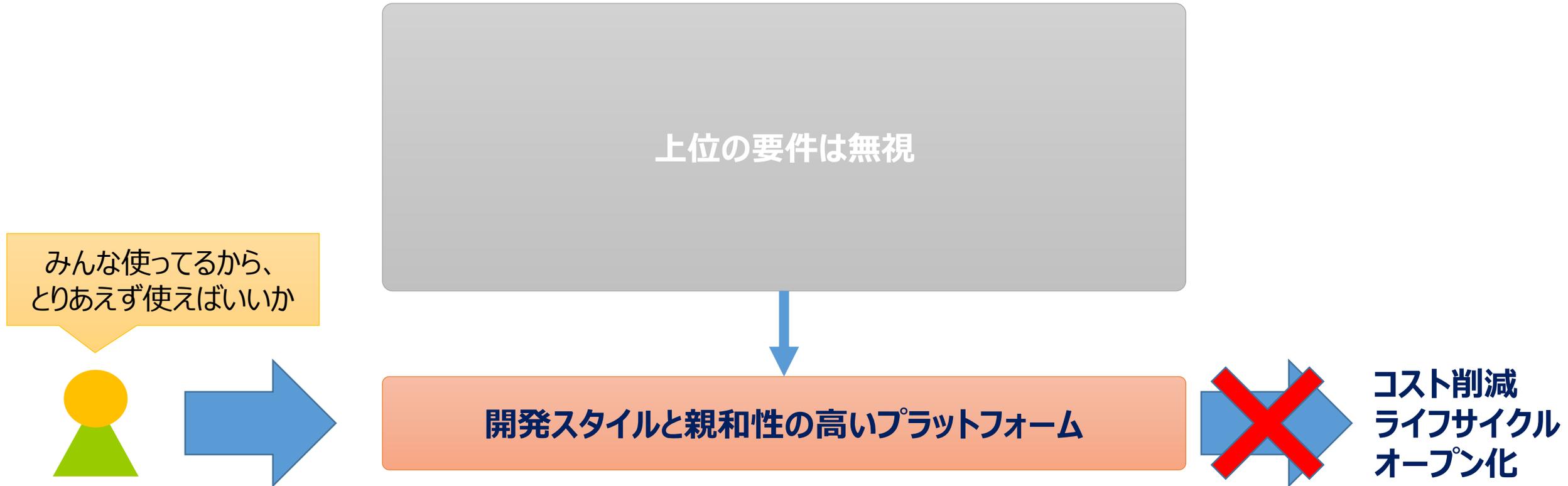
原因 2

■ 時間とコストの大きな変化に気づいていない

	ホスト・メインフレーム 1970～	オープン・インターネット 1990～	クラウド 2010～
リソースコスト	数億～数十億円	数百万円	数百円
減価償却期間	7～10年	3～5年	数時間～数カ月
準備期間	1年	数カ月	数秒～数時間

原因 3

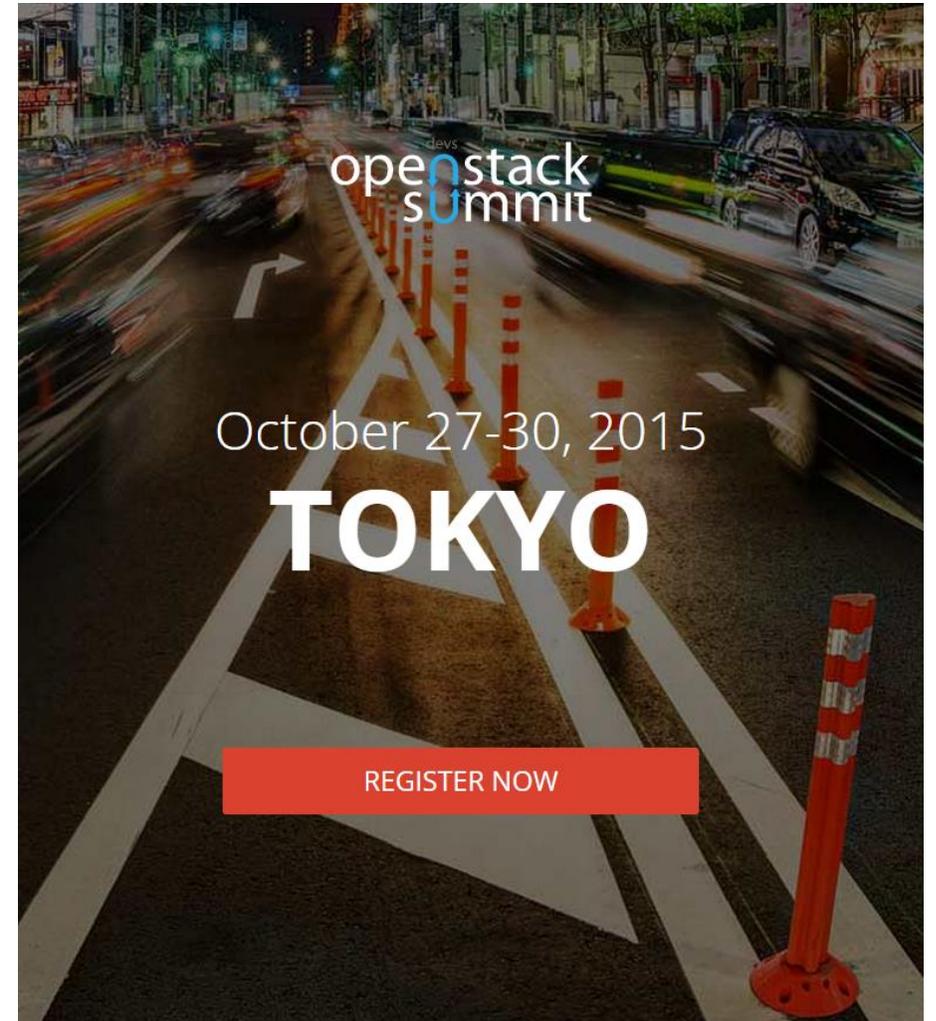
■ OpenStackを魔法の技術だと勘違いする



先進ユーザに学びましょう

■ OpenStack Summit

- 国内では数少ない大規模な国際イベントです。
- 世界のOpenStackユーザ動向を直接知ることができます。

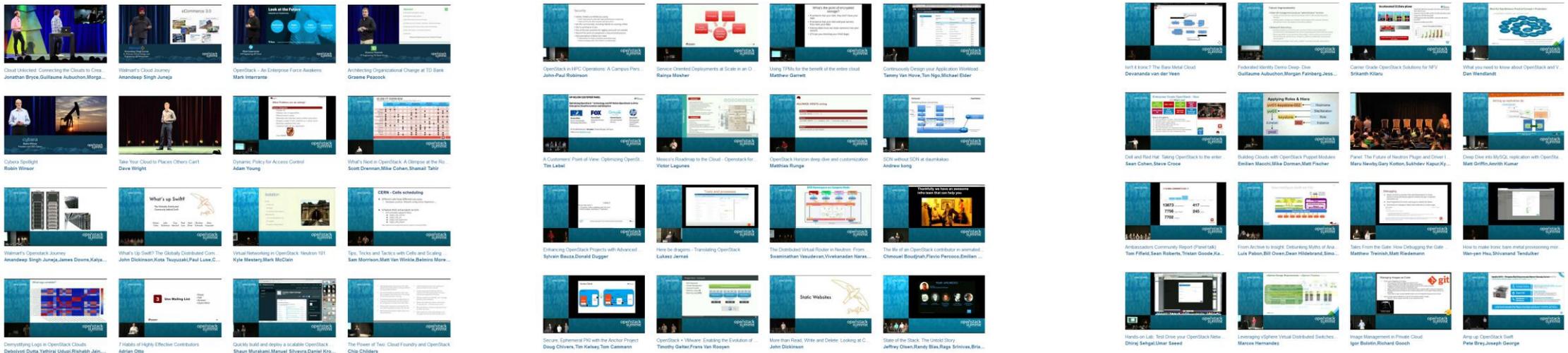


<https://www.openstack.org/summit/tokyo-2015/>

前回サミットでは

"We are the technology company"

"Infrastructure is becoming software"



2つの事例



■ TD Bank

- カナダの大規模銀行
- 大規模なOpenStackプライベートクラウドを構築
- 4,000システムのうち、8割をOpenStackへ移行予定

■ Time Warner Cable

- 米国No.2ケーブルTV会社
- 2014年よりOpenStackを利用開始

■ 経緯

- 金融市場の変化と事業拡大のため積極的買収
- 各プロジェクト毎にサイロシステムが乱立
- 各システムはVender Centric

■ 企業内での変化

- 社内に30名のエンジニアリングセンターを設立（7月までに50人規模に）
- 銀行内で横断的に働き、エンジニアの教育も行う。
 - 隔週のFAQマイクセッション
 - コミュニティとの連携



Architecting Organizational Change
at TD Bank



05.18.2015

Time Warner Cable



■ 経緯

- オンデマンド時代の到来
 - 従来とは異なるビジネスの展開が必要に
- HW/SWもベンダーにお任せ
 - "安定"が最重要の文化
 - ソフトよりハード
- 既存システムの統合を試みたが失敗

■ 企業内での変化

- アプリケーションのクラウドネイティブ化
- DevOps
- 新しいツールとプロセス

Changing Culture at
Time Warner Cable



■ きっかけは様々

- ビジネス領域の拡大のため
- 競合他社との差別化のため
- 変化への適用のため

■ 木ではなく、森を見ることが重要

サミットへ参加しよう！



■ 拡散禁止情報

セッションで公開

先着100名のみ有効

ご清聴ありがとうございました